

2016年7月21日

祇園祭ごみゼロ大作戦にボランティア参加

7月15日、京都 祇園祭の可燃ごみの量を削減し環境負荷の軽減に取り組む「祇園祭ごみゼロ大作戦」に当社の社員7名が「京都 CSR ネットワーク」※からのボランティアの一員として参加しました。

日本三大祭の一つである祇園祭は、京都市内で毎年7月の一カ月間開催され、国内外から多くの観光客を迎えます。宵山行事期間には、京都市中心部の通りに多くの屋台が立ち並び、来場者が路上の山鉾を見物しながら飲食等を楽しみます。その一方、使い捨ての食器をはじめとする祭りごみの大量発生は観光都市ならではの社会問題ともなっています。この改善に向け、2014年、屋台へのリユース食器導入と、リユース食器やごみの回収を手伝うボランティアスタッフを配置する「祇園祭ごみゼロ大作戦」が民間事業者やNPO、行政の協働で始まりました。当社は団体ボランティアの一員としてこの取り組みに2014年から参加しています。



今回、当社の社員がボランティアスタッフとして参加したのは、宵々山と呼ばれ約28万人が来場した7月15日のうち最も混み合う午後7時から10時の時間帯です。活動場所は歩行者専用となった通りの隅に設けられたエコステーションで、特設のごみ回収箱の周囲に立ち、通りを行き交う多くの来場者に、手持ちのごみをリユース食器、ビン、缶、ペットボトル、燃やすごみに分別して回収箱に入れるよう呼び掛けました。また回収箱がいっぱいになるとすぐに中身を交換し再び空の状態にすることで、清潔で快適なエコステーションを保ちました。参加した社員からは、「蒸し暑い中、祭りにきてくれる人々に少しでも気持ちよく過ごしてもらえたらうれしい。」「祇園祭の雰囲気も楽しみながらボランティアに参加できてよかった。」といった声があがりました。

日本電産は今後も地域社会との対話を行い、そこから見出される地域社会の将来を見据えた活動に取り組めます。

※京都 CSR ネットワーク：京都府内に事業所を持つ企業の CSR 担当者や行政職員等が組織の枠をこえて情報交換や学ぶ機会の提供、「協働」のきっかけづくりに取り組むネットワークです。

京都 CSR ネットワーク Web サイト

<http://www.pref.kyoto.jp/chiikiriyoku/csr/csrnetwork.html>